



指扇中だより



西区の花 アジサイ

= 自信と誇りに満ちた指中生 =

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 電話 048(624)6234 FAX048(624)2479

ホームページアドレス <http://sashiogi-j.saitama-city.ed.jp/>

『12月1日は、指扇中学校の開校記念日です』

校長 あおき ひろし
青木 洋

いよいよ、2019年（令和元年）もあと1か月になりました。12月は、師走というように先生が走り回るほど忙しい月と昔から言われています。2学期のまとめ、受検（受験）シーズンの到来、来年度に向けての準備等あわただしい時期になります。指扇中学校においても同様です。本校では、このような時期においても「時を守り、場を浄め、礼を正す」（教育哲学者；森信三）の心意気と「率先垂範」・「師弟同行」をモットーとして、教職員は、生徒のため頑張りますのでよろしくお願いします。



さて、昨日の12月1日は指扇中学校の創立73年の開校記念日でした。

昭和22年(1947年)4月1日に開校して以来、13088人の卒業生が学び、歴代27代の校長先生のもと、約3千人の教職員が生徒に寄り添いながら、指中生の教育に携わっています。昭和22年12月1日に指扇村立指扇中学校の「父母教師会」（現在のPTAです）を創立したことを記念して、開校記念日としたそうです。

指扇中学校は、開校当時、指扇小学校の一部などを使用してスタートしました。開校当時の生徒数275名（1年生125名、2年生93名、3年生57名）、教職員8名でした。現在の校地に新校舎を建てること決められたのは昭和24年6月で、場所は、当時『丸山台地』と呼ばれていた雑木林付近でした。高台で水はけも良く、指扇地区のだ真ん中に当たるいわゆる一等地だったと思われます。

また、昭和32年には10周年を記念して、校旗（12月1日制定）、校歌（12月7日制定）を作り今なお引き継がれております。まさに校旗と校歌は、指扇中学校の象徴となり、歴史と伝統を感じることができる大切なものです。校歌の作曲者は、中田喜直さんという方で「夏の思い出」「めだかの学校」「雪の降るまちを」「ちいさい秋みつけた」など数多くの唱歌を作曲した方です。私は、指中生に望むことの一つとして、校歌を一生懸命愛情込めて歌う生徒になってほしいと思っています。堂々と歌う姿勢は、「自信と誇りに満ちた指中生」の証ではないでしょうか。

下の写真は、音楽の授業で取り組んだ校歌のイメージを絵で表現した生徒の作品です。左から、2年2組 白石陸（しらいしりく）君、1年3組 小俣和桃（おまたやまと）さん、3年1組 齋藤友梨（さいとうゆうり）さん の作品です。【音楽科の小池先生より】

